

第19回長崎国際大学 学位授与式

令和4年3月12日 於：本学体育館

「接種後の時間過ぎたり梅の花」本日は第19回卒業式、保護者の方も来賓の皆様も居られない、やや淋しい卒業式ではありますが、今、巣立たれようとする453名の輝いた瞳が、私を勇気づけてくれます。

令和元年12月に発生したコロナ禍は皆さんの学生生活を直撃いたしました。対面授業は勿論、友人との語らい、クラブ活動、数々の学校行事にいたるまで、満足できるものは少なかったと思います。しかし、そうした不自由な中で皆さんはしっかり勉強に励まれ、今、卒業式に立っていられます。ある人が述べています。

悪い時が過ぎれば、良い時は必ず来る
おしなべて事をなす人は、必ず時の来るのを待つ
あせらず、あわてず、静かに時の来るのを待つ
時を待つ心は、春を待つ桜の姿といえよう
だが、何もせず待つことは、僥倖きょうこうを待つに等しい
静かに春を待つ桜は
一瞬の休みもなく力を蓄えている

蓄えられた力がなければ、時が来ても事は成就しないだろう
大切な事は、コロナが終息した後、世界は、日本は、そして貴女の人生はどうなっているのか。その時に立てるように、その時に走れるように、地に足をつけた日々を過ごしてください。

長崎国際大学での生活を誇りに、友人や先生との思い出を胸に、人生を歩いて行って下さい。皆さんの未来が輝かしいものになることを心より祈って、理事長告辞といたします。

学校法人 九州文化学園

長崎国際大学

理事長 安部直樹